

さをり織り帽子 毎年50～100個贈る

抗がん剤治療 患者に笑顔を

岡山市北区奉還町の来患者の化学療法を行
さをり織り教室「手織 通院治療センター(倉
適塾さをりすと」の生徒らが、抗がん剤治療
敷市松島)へ毎年この
で髪が抜けた患者に手
作りの帽子を贈る活動
託している。

を続けている。取り組
みが10周年を迎えた今
年は約50個を仕上げ、
19日に医療機関に届
けた。

教室は、さをり織り
作家の栗坂美鈴さん
(76)＝瀬戸内市邑久町
北島Ⅱが主宰し、20代
から90代まで約30人が
通う。病気で苦しむ人
を少しでも元気づける
ことができればと、外
者に持ち帰ってもら

岡山の教室 活動10周年

う。

る。

「軽くて肌触りが優
く、通気性も良い」「手
作りで温かみがある」
「おしゃれをあきらめて
いたが、帽子のプレゼン
トが勇気を与えてくれ
た」。同センターから教
室へは毎年、帽子を受け
取った患者たちのメッ
セージが寄せられてい
(田村柚乃)



帽子を贈り続けている「手織適塾さをり
すと」の栗坂さん(左)と教室生